

リハビリテーション病院 薬剤部

薬剤科長 中野 克哉

●人員配置・人事異動について

2023年度は薬剤師6名(パート1名含む)、テクニカルスタッフ1名でスタート

薬剤師：中野、雨森、井上、池澤、上村、西田    テクニカルスタッフ：濱田

2023年9月 池澤・上村→近森病院へ異動    薬剤師4名(パート含む)体制へ

2022年10月 千頭 近森病院→近森リハへ異動、雨森 近森リハ病院へ異動

2023年11月 岡林 近森病院→近森リハ(1週間のみ)、森塚(育休あけ)で近森リハへ

2024年1月 森塚 近森リハ→近森病院へ異動

新人(松浦1月、坂口2月、橋田3月)が研修をかねて各1ヵ月間、近森リハ配属へ。

2023年9月からは人員減と人事異動が毎月あり、優先順位をつけて業務量調整が必要であった。

●病棟薬剤業務

2023年は人員減と人事異動多く、かつ医療機能評価受審もあり、多忙ではあったが、服薬指導、処方提案数等の件数は例年より多く積極的に病棟薬剤業務できていたと考える。

表1

2023年	3F	4F	5F	6F	合計
服薬指導件数	203	125	197	170	695
持参薬報告件数	179	80	169	172	600
連携バス記入件数	88	50	94	96	281
血液検査確認件数	596	410	851	415	2272

表2

2023年	3F	4F	5F	6F	合計
処方提案数	252	247	373	434	1306
疑義照会	50	32	69	14	165
質疑応答	77	37	70	23	207
副作用発見件数	18	7	38	21	84

●院内勉強会

・全職種対象の医薬品安全のための講習会を実施。

「睡眠薬と転倒」    2023年    2月    担当    中野

必須の医療安全勉強会と一緒にいれさせてもらい勉強会実施。

ベンゾジアゼピン系睡眠薬服用患者での転倒患者が多かったため注意喚起行った。

・教育研修委員会からの講義の依頼

「うつ病・認知症のケアについて」2023年    2月    担当    中野

→病棟がコロナでアウトブレイクあり、延期へ。

●執筆活動

・回復期リハビリテーション (回復期リハビリテーション病棟協会機関誌) 原稿執筆

2.1.10 抗菌薬を適正に使用している

執筆者：中野 克哉

・タイトル

「手引きを作成し AMR 対策を周知, 病棟担当薬剤師が使用状況を評価、適時介入」

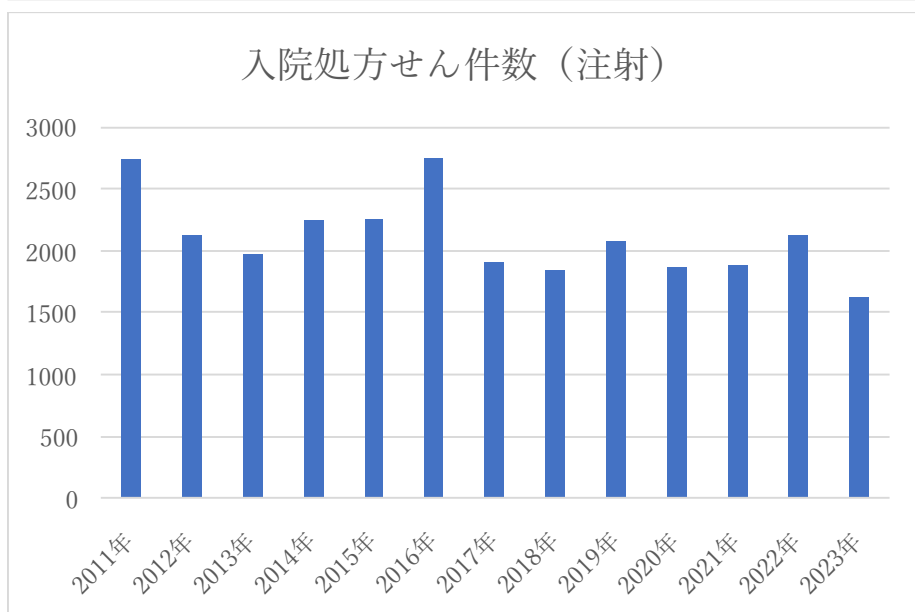
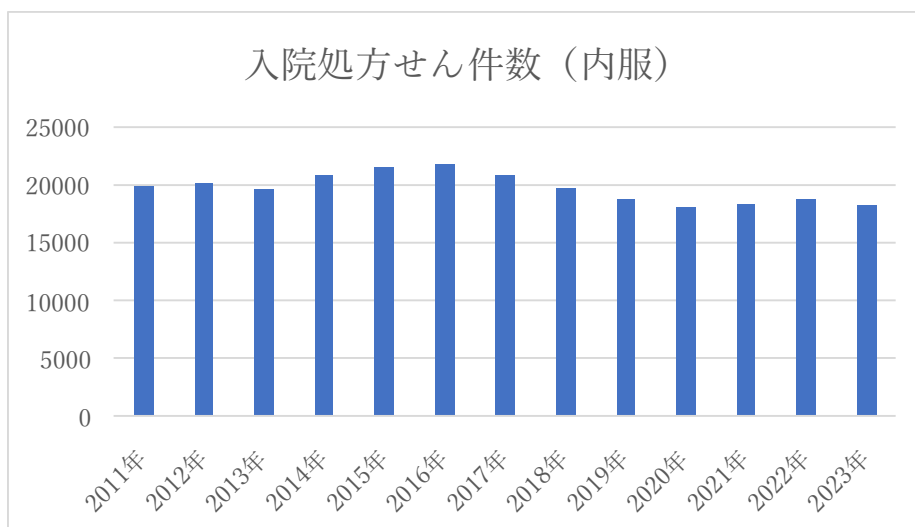
●その他の活動

2023年8月 抗菌薬使用の手引き改定 (AMR アクションプラン 2023-2027 参照)

2023年8月 オープンホスピタルに薬剤部も参加

2023年12月 医療機能評価機構を受審

●内服処方せん・注射処方せん数の推移



●学術発表・講演会等

演題	演者	学会名	開催
回復期リハビリテーション病院における転倒患者の患者背景と睡眠薬服用状況調査	中野 克哉	第 62 回日本薬学会・日本薬剤師会 中国四国支部学術大会	R6 年 10/28~29
回復期リハビリテーション病院における診療報酬改定に伴う病棟薬剤業務の変化	井上 みなみ	第 62 回日本薬学会・日本薬剤師会 中国四国支部学術大会	R6 年 10/28~29